



社会福祉法人

小豆島町社会福祉協議会



この広報誌は共同募金助成金の一部で発行しています



ふくしだより

FUKUSHI DAYORI

No. 39

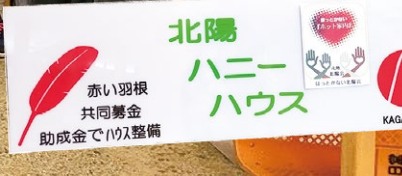
2025.10

三好市池田 老人クラブ・三縄中央老友会との交流会



共同募金会助成金で改装・整備した池田北地「北陽ハニーハウス」

令和7年6月15日



Contents

- ・北地老人クラブ北陽会 北地ほっとかない北陽会 コロナ禍活動からの脱却
- ・新会長挨拶 ・新副会長挨拶
- ・令和6年度 事業報告 ・令和6年度 収支決算
- ・令和7年度 事業計画 ・令和7年度 収支予算
- ・小豆島町社会福祉協議会 組織図
- ・新職員のご挨拶 ・小豆島町老人クラブ連合会



本所：☎ 82-5318 / 支所：☎ 75-0018

小豆島町社会福祉協議会





赤い羽根共同募金助成事業



老朽化で屋根シートが破れ、暑さ対策も不十分で使用を中断していたビニールハウス(呼称:北陽ハニーハウス)を令和6年度の共同募金助成金で遮光・遮熱シートに年末に張替し、備品も整備。

コロナ禍「三密防止」でビデオ主体の一方的で面白みのない活動から、笑顔で集え、絆づくりが出来る地域「通いの場」を目指し改装。

3月の月次常会には自治会・防災会・婦人会・若者会・子供会の各役員を招待し、お披露目。当日は会員有志のハーモニカ演奏や健康体操の後、ペタンクゲーム等を楽しみ、盛会となりました。

ハウスは常時開放していて、地域の方々がいつでも自由に使用できるように20人掛の会議テーブルや5・6人で打合せ出来るテーブルを常設。

換気・温度対策の為の天井扇の設置。又、入口までの手すり、裏口からトイレへの階段・手すり等の設置も行った。



ハウスイベント

講演会やビデオ健康体操以外にピンポン、トランプ、カラオケ、輪投げそして気楽に集う…



ラダーボール



麻雀ゲーム



囲碁・将棋

カルムゲーム



ペタンク
2コート



新 会 長 挨 拶 小豆島町社会福祉協議会 会長 空林 志郎



会 長
空林 志郎

この度、小豆島町社会福祉協議会の会長に選任されました空林です。社会福祉協議会には事務局員として6年間お世話になり、その後、理事として参画していました。何分浅学菲才の身であり、職責を果たせるか不安な部分もありますが、理事会、評議員会、社協職員の皆様のお力添えを頂きながら務めて参りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

社会福祉協議会は、社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。社会福祉法に基づき、設置されています。それぞれの都道府県、市区町村で、地域に暮らす皆様のほか、民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動をおこなっています。

私は、現在、自治会の役員をしています。自治会の目的は住民同士が助け合い協力しあって、住みよい地域社会をつくっていくことにあります。そのためには、以前からある「近所づきあい」の重要性を感じています。社会の変化に伴い、集団よりは個を重視する価値観になっていますが、隣近所の適度な関わりも必要だと思います。日常の何気ない高齢者や子供たちの見守りが地域の安全につながりますし、災害時の高齢者への声掛けだけでも大きな支援になります。また、四季折々の集いの場による楽しみも増えてきます。これらの活動は住みよい地域社会を作ることになりますし、その延長線上に「福祉のまちづくり」が見えてくると思います。

現在の小豆島町社会福祉協議会は、職員の経験の積み重ねや新たな資格取得によりスキルの向上が図られています。行政による福祉の増進と共に身近な存在として「社協」を使っただけであれば幸いです。



新 副 会 長 挨 拶 小豆島町社会福祉協議会 副会長 浜口 敏夫



副会長
浜口 敏夫

このたび小豆島町社会福祉協議会の副会長を務めさせていただくことになりました浜口と申します。まだまだ力不足ではございますが、このような大切な役割をいただき、身の引き締まる思いでおります。

私事になりますが、20年ほど前に先天性疾患を持つ娘を授かりました。一歳まで生きられるかどうかということを言われた記憶がありますが、多くの医療、療育、教育機関の方々にお世話になったこともあり、現在はおおむね元気に障害者通所施設へ通っております。

娘の成長とともに、様々な障害特性を持つお子さんや、支える家族、またそれを支える施設と接してきましたが、私の親世代が高齢になるにつれ、障害者福祉と高齢者福祉に共通するものを感じております。

微力ではございますが、空林会長をしっかりと支え、子どもから高齢の方まで安心できる地域づくりに力を尽くしてまいります。どうぞ今後とも、温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 事業報告及び収支決算・令和7年度 事業計画及び収支予算

令和6年度 事業報告

地域福祉の推進

(単位：千円)

生活支援 コーディネーター事業	小豆島町主催のオリーブ健康塾によるボランティアの養成研修やステップアップ研修、見守り模擬訓練に協力し、ボランティアの育成活動を行った。 事業費：3,600千円
日常生活自立支援事業	判断能力が不十分な高齢者や障害者などを対象に、福祉サービスの利用援助や手続きの代行、金銭管理などの援助を行った。 ○相談支援回数：289回 事業費：1,233千円
生活福祉資金貸付事業	低所得世帯、高齢者世帯等の経済的自立や社会参加への促進を図ることを目的に資金の貸し付けと援助指導を実施した。 ○相談件数：175件 事業費：5,605千円
生活困窮者自立相談 支援事業	生活困窮者に対し、自立に向けて状況に応じた支援を行った。 ○新規相談件数：4件 事業費：3,546千円
香川おもいやり ネットワーク事業	社会福祉法人・施設・社会福祉協議会・民生委員児童委員がつながり、地域の課題を解決するためのネットワーク体制づくり、総合相談・支援事業、人材育成、福祉教育の推進を行った。 ○フードバンク：32件 事業費：65千円
小地域ネットワーク事業	絆バトンの配付事業を実施した。 在庫対応
一人暮らし高齢者を 励ます会	一人暮らし高齢者を対象に、集会所等で交流会を行った。開催が困難なところは、見守りも兼ねプレゼント、弁当の配付を行った。 事業費：338千円
配食サービス事業	食事を作ることが困難な高齢者世帯に対し、栄養バランスのよい食事を提供し、安否確認を行った。 ○配食数：延 4,718食 事業費：3,465千円
生活支援サービス事業	在宅の高齢者に対し、軽度な日常生活上の援助を行った。 ○利用者数：33名 ○支援時間：1,434.3時間 事業費：3,449千円
法人成年後見事業	判断能力が十分でない人の権利擁護を行う成年後見制度を本社協が法人として行うもので家庭裁判所への報告などの業務を行った。 ○受任件数：1件（令和7年3月末現在）
福祉機器貸出事業	車いすの貸出を 34件実施した。 事業費：40千円
防水シート配布事業	民生委員の協力を得て、在宅で寝たきりの方を対象に防水シートの配布を行った。 ○配布人数：62名（配布枚数：124枚） 事業費：140千円

総務

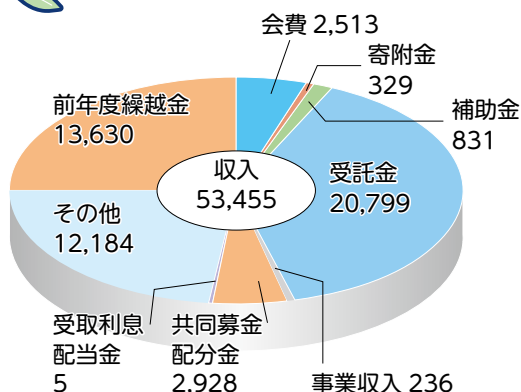
災 害 関 係	令和6年1月1日に発災した能登半島地震で、珠洲市災害ボランティアセンターの運営支援に職員1名派遣した。(8/5～8/11) 南海トラフ地震を想定し、県防災士会の講師から、業務継続計画におけるリスクの把握と建物・設備の安全対策についての講演研修を行った。
心配ごと相談所の開設	町民の日常生活上のあらゆる心配ごとと相談に応じ、適切な助言指導を行い、福祉の向上を図った。 ○相談件数：21件 事業費：89千円
広 報 活 動	本社協の社会福祉を目的とする事業に関する普及、宣伝を行った。 ○広報誌「ふくしだより」年2回発行 事業費：595千円
共 同 募 金	小豆島町共同募金委員会の運営及び共同募金運動を行った。



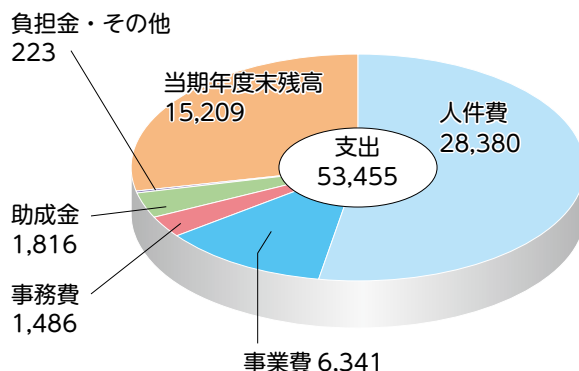
令和6年度 収支決算

(単位：千円)

〈収入の部〉



〈支出の部〉



令和7年度 事業計画

少子高齢化・人口減少が急速に進み地域社会のあり様が変わる中、高齢者等の社会的孤立や不安を抱える子育て家庭の増加など、貧困・格差がますます広がり、地域住民の抱える課題は複雑化・多様化し、既存制度の枠組みだけでは対応が困難となっています。また、昨年は元日から能登半島地震が発生し、さらには南海トラフ地震臨時情報の発表や香川県で初の線状降水帯が発生するなど、大規模な災害の危機にもさらされており、特に高齢者等の避難行動要支援者への対策が求められています。

このような中、社会福祉法等の改正により、人々が生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがいをともに作っていくことのできる「地域共生社会」の実現が求められています。

小豆島町社会福祉協議会においても、下記の重点推進項目を中心に各種事業を展開し、地域共生社会の実現に向けての取り組みを推進していきます。

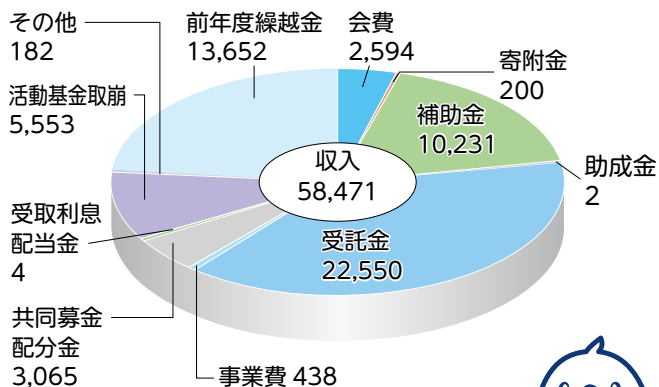
〔重点推進項目〕

- ①相談・支援業務の充実
- ②緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援
- ③災害時福祉支援活動の取り組み

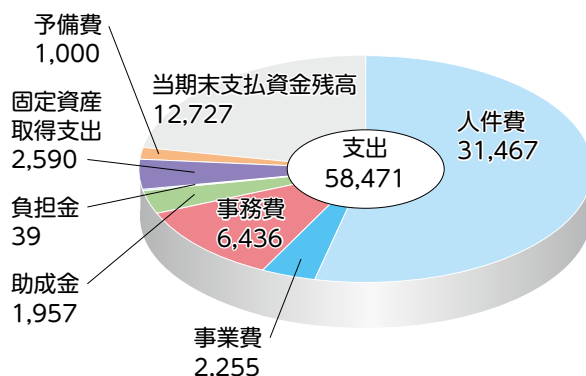
令和7年度 収支予算

(単位：千円)

〈収入の部〉



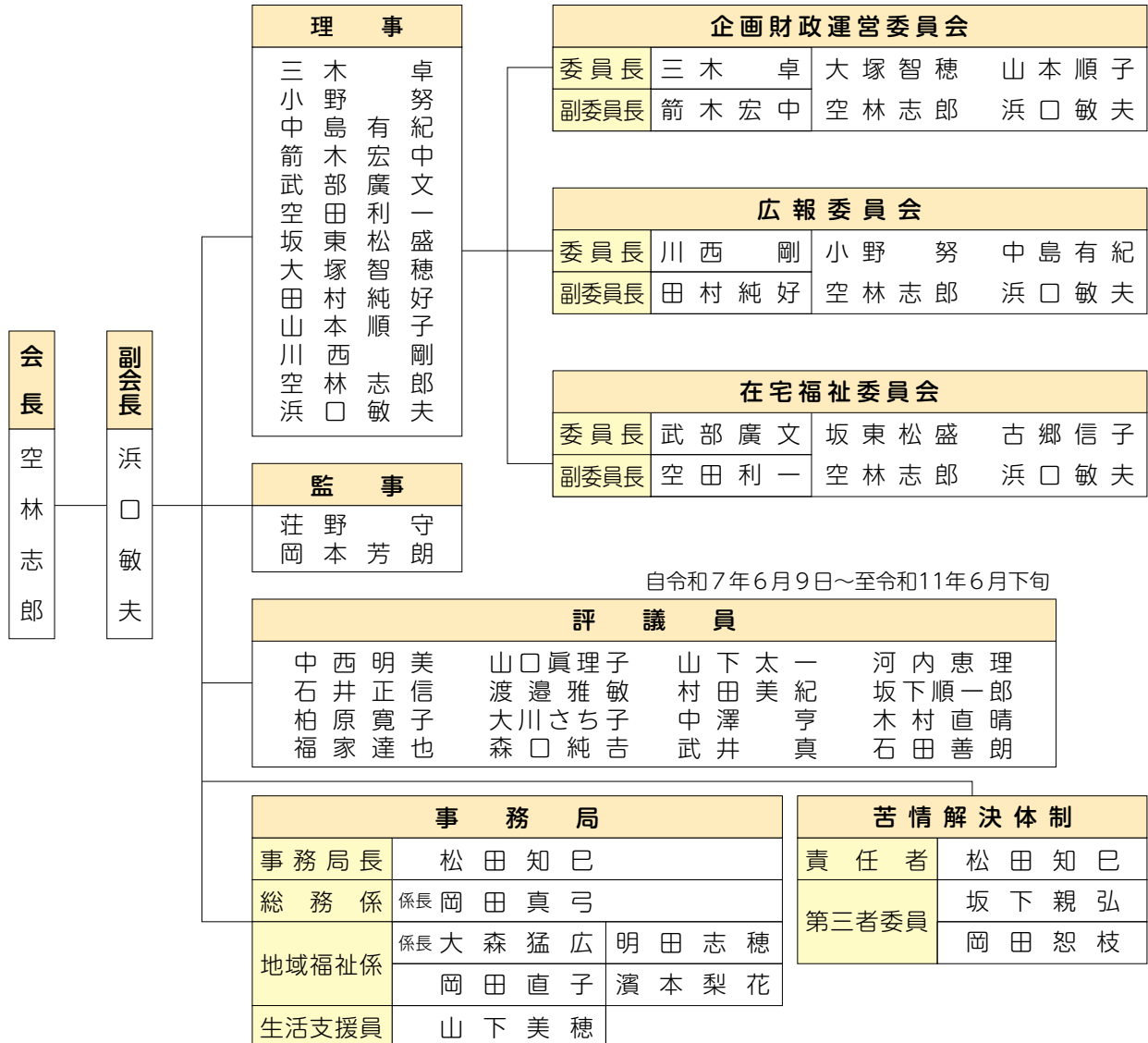
〈支出の部〉



小豆島町社会福祉協議会組織図



自令和7年6月26日～至令和9年6月下旬



自令和7年6月9日～至令和11年6月下旬

※理事・監事・評議員は、議会、行政、自治会、民生委員児童委員、老人クラブ、婦人会、身障者団体、福祉施設、保健・医療機関、学校、ボランティア、福祉委員の代表及び学識経験者で構成されています。

新職員のご挨拶



地域福祉係
明田志穂



このたび、4月から小豆島町社会福祉協議会で勤務させていただいております。

小豆島ならではの距離の近さ、顔の見える関係を大切にしながら、地域の皆さまの生活に寄り添い、少しでも力になれるよう努めてまいります。

福祉に関わることが初めてなのでまだまだ学ぶことばかりですが、社協職員として少しずつ成長していきたいと思っていますので、ご指導・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

小豆島町老人クラブ連合会ニュース

8月28日(木)、小豆島町老人クラブ連合会の事業の一つ、「町長との意見交換会」が開催されました。南海トラフ時の対応や、高齢者の移動支援、小豆島の活性化などの議題があがり、町長と活発な意見交換が行われました。

小豆島町老人クラブ連合会は、町長との意見交換会のほか、スポーツ大会やグラウンドゴルフ大会など様々な活動をしています。皆さんも老人クラブの会員になって、一緒に活動してみませんか？

